

匿名データの有用性に関する情報の提供について

< 現行 >

統計局HP内「匿名データの提供」に、「利用上の注意」として、

- ・ 各調査の匿名データは、世帯や個人が特定されないよう、必要な匿名化処理を行っています。
- ・ 国勢調査においては、地域情報は強力な識別情報となり得ることから、都道府県内において一部情報を他の地域の類似情報と入れ替えるスワッピングを行っています。なお、匿名データと国勢調査の集計結果との比較を御覧になれます。

を記載している。

匿名データと国勢調査の集計結果との比較は、別紙参照。

地域	全国、練馬区（50万以上市区の代表）
項目	個人事項（年齢別人口、配偶関係別人口、労働力状態別人口、産業別就業者数、職業別就業者数（いずれも男女別）） 世帯事項（住宅の種類・所有の関係別世帯数）
構成割合で比較	

最低限の情報提供として問題ないか

代表的な地域 主要項目のみ 分類区分別構成割合

追加が考えられる情報

年齢については、平均、分散、四分位範囲

トップコーディングを行った階級（年齢、世帯人員数、階数など）の基本統計量

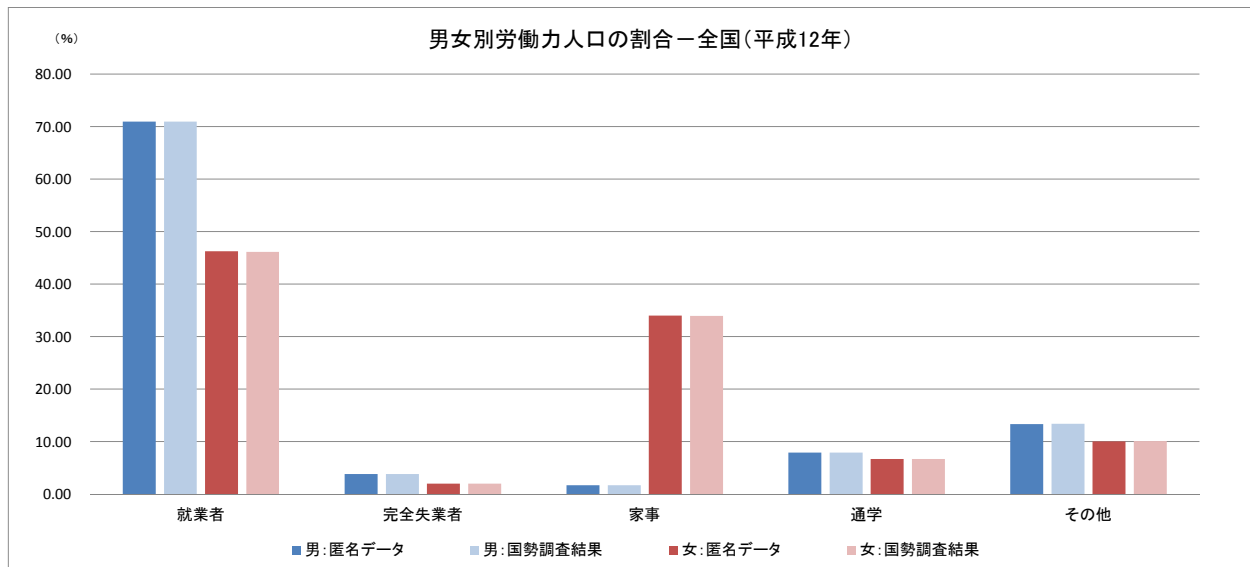
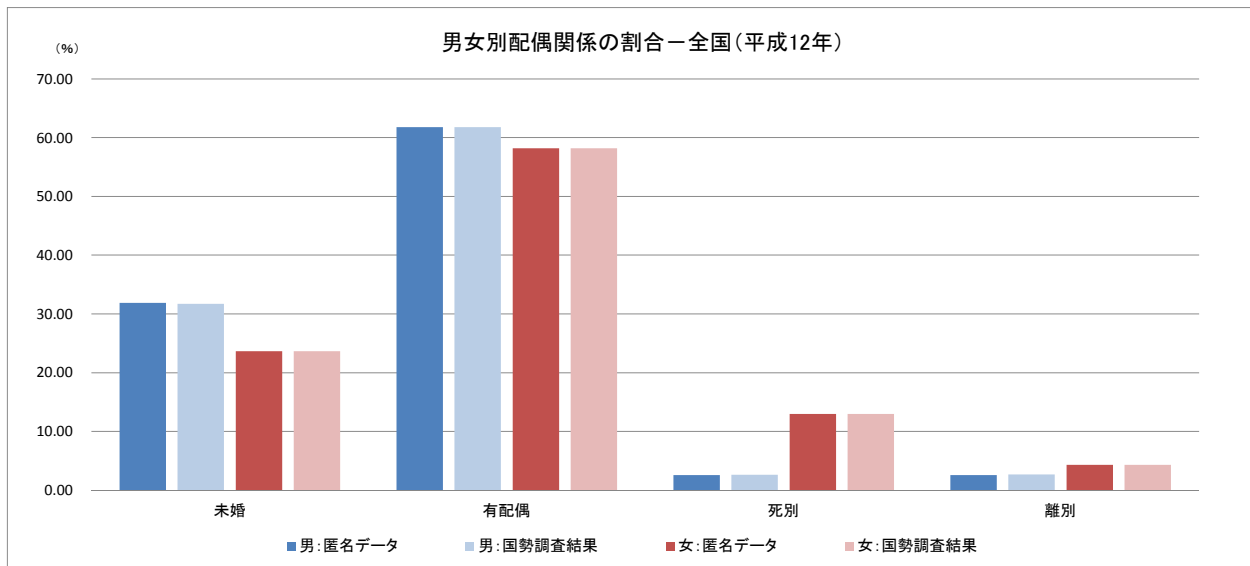
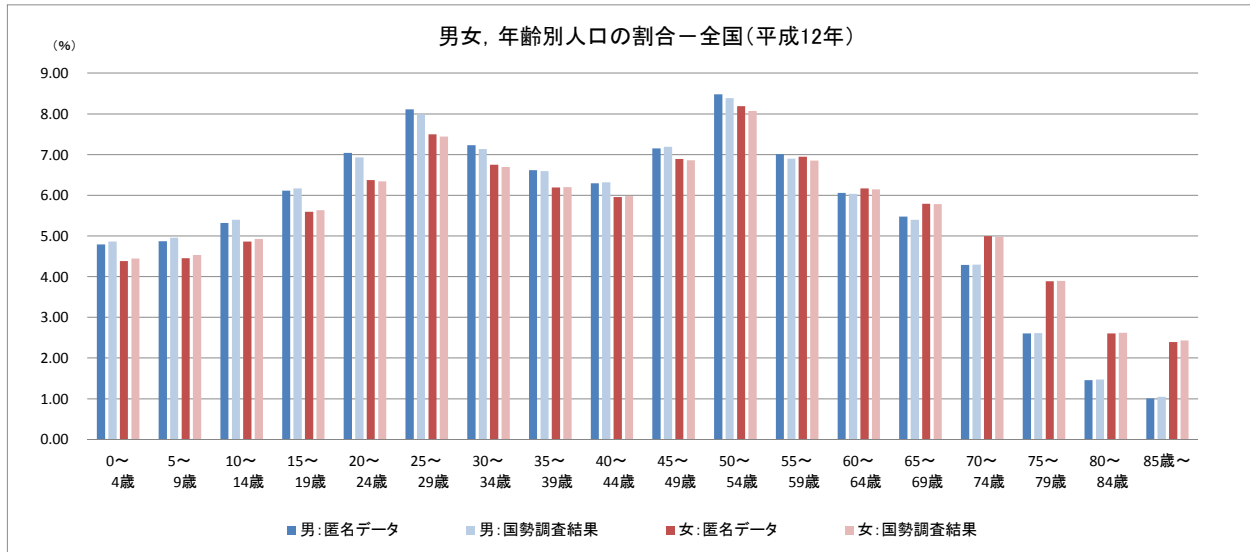
その他

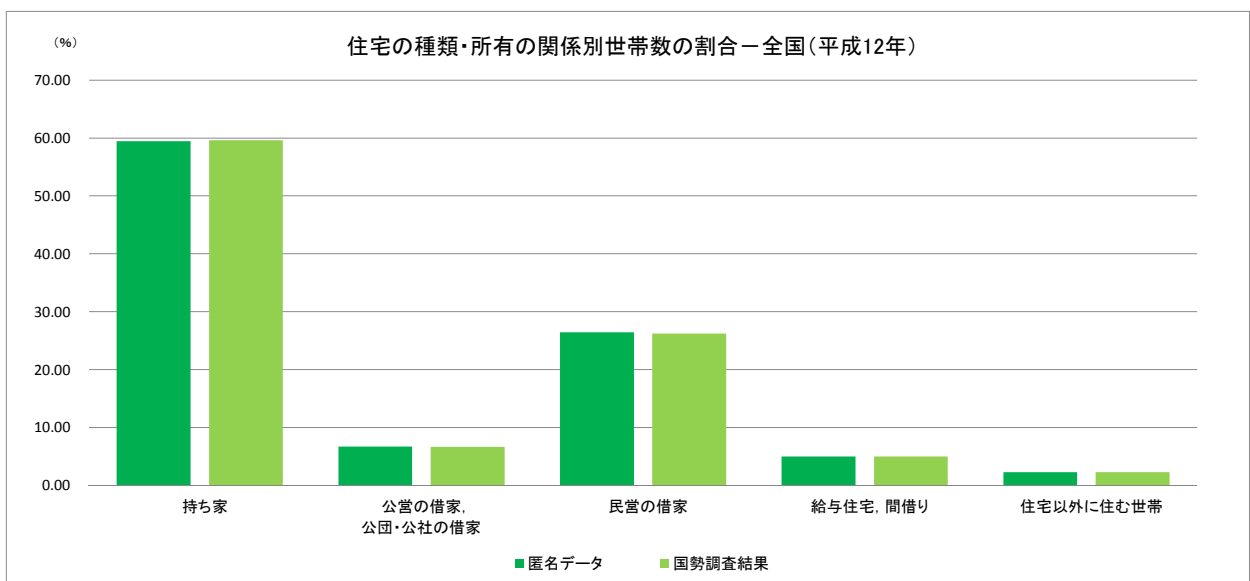
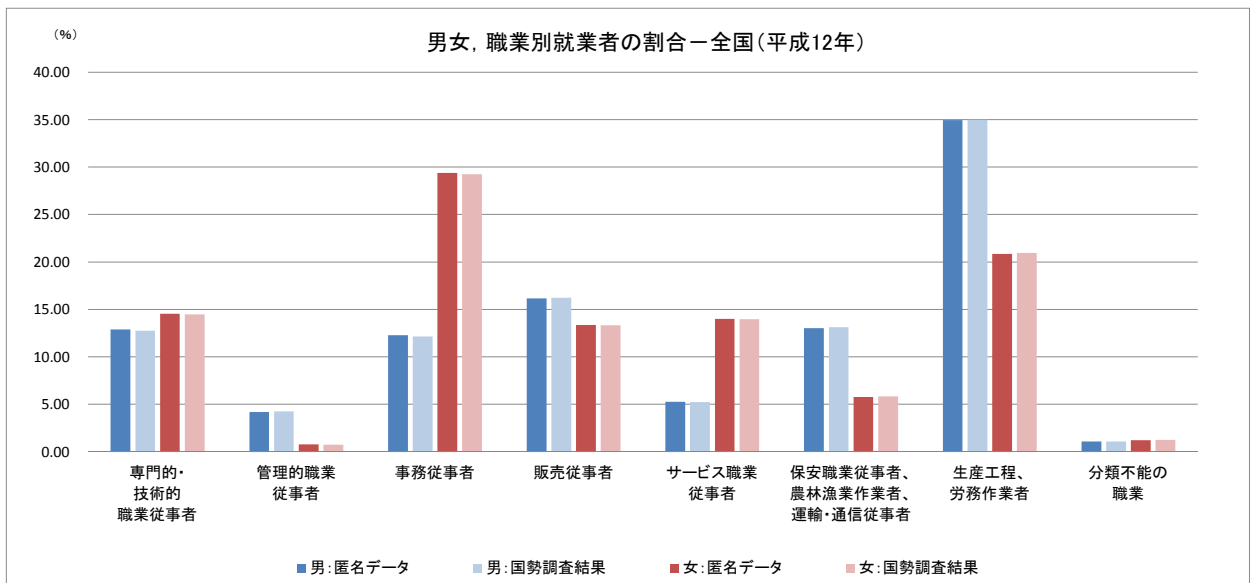
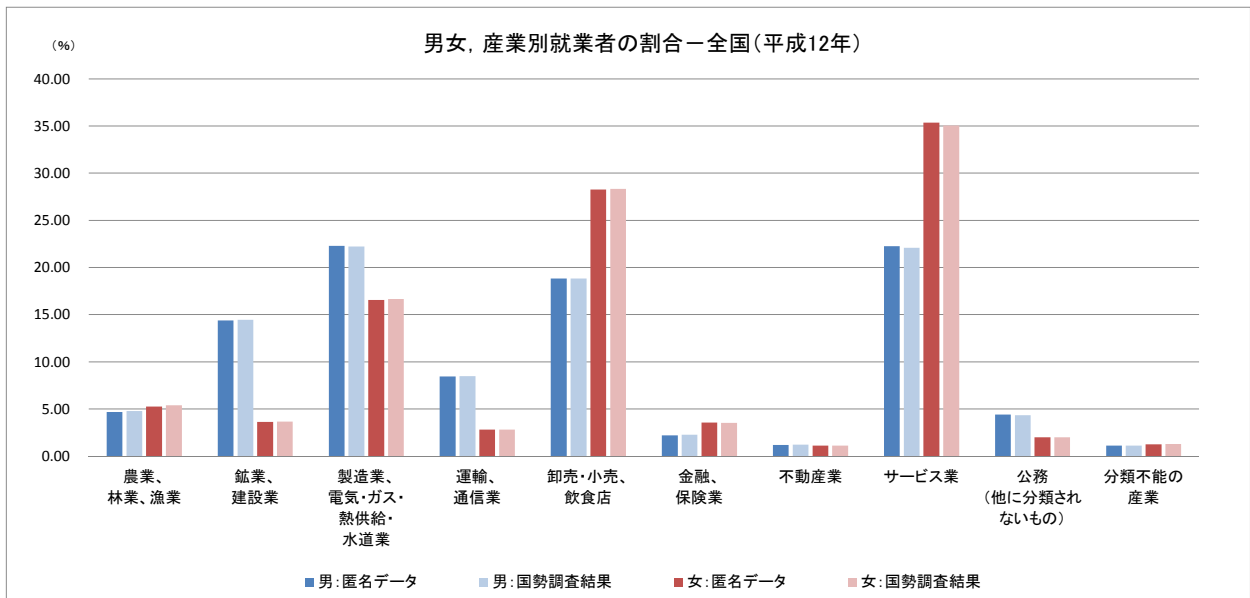
国勢調査匿名データ及び国勢調査結果の構成比

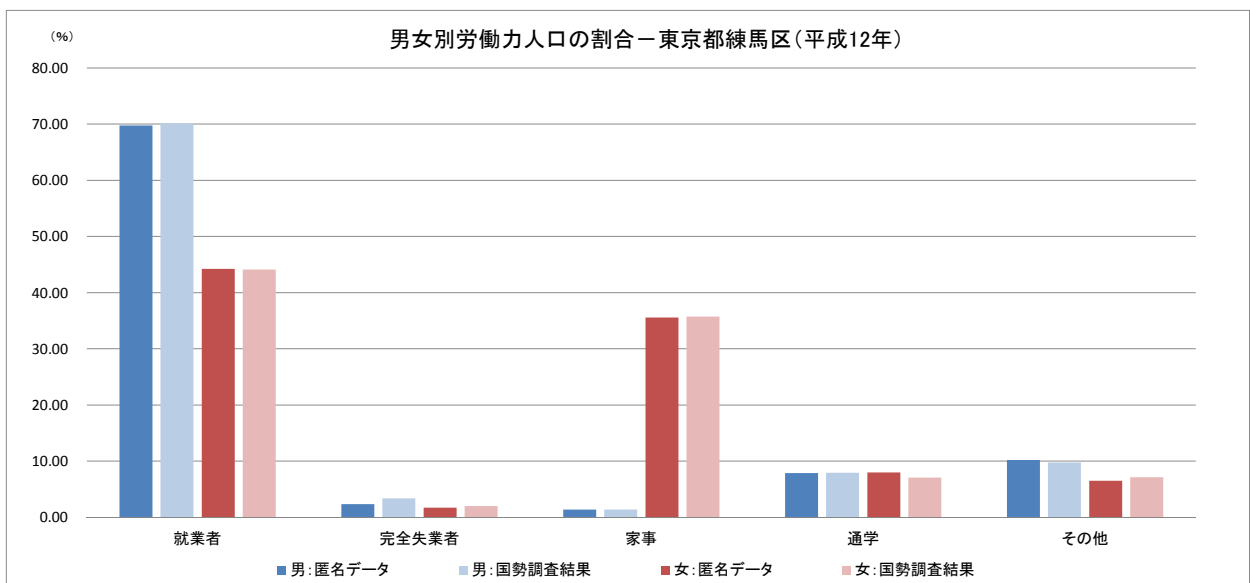
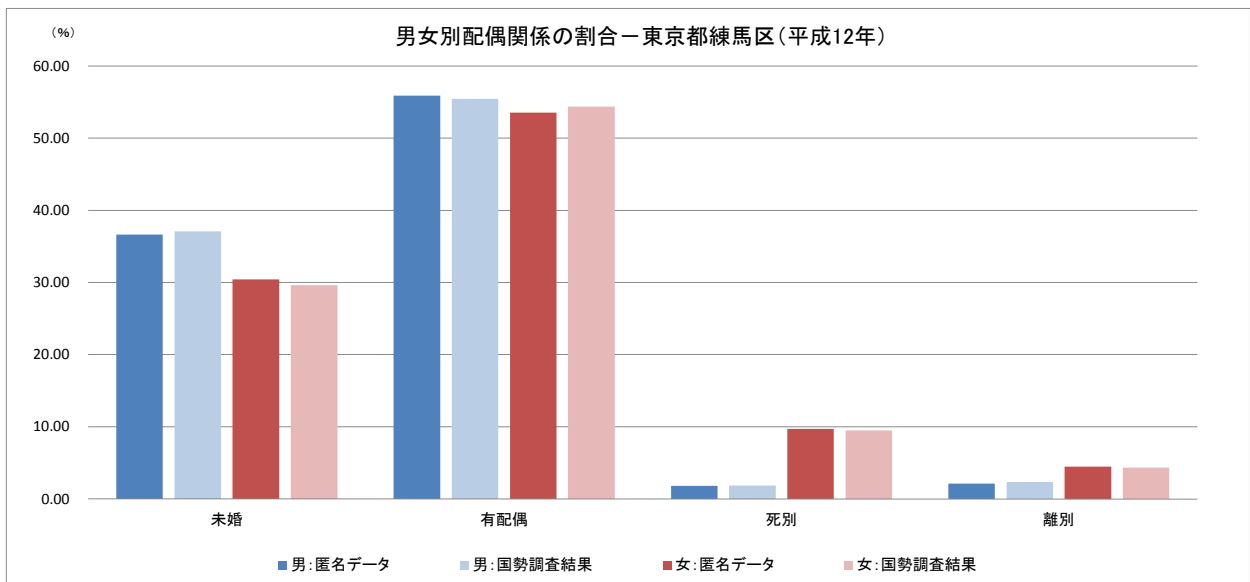
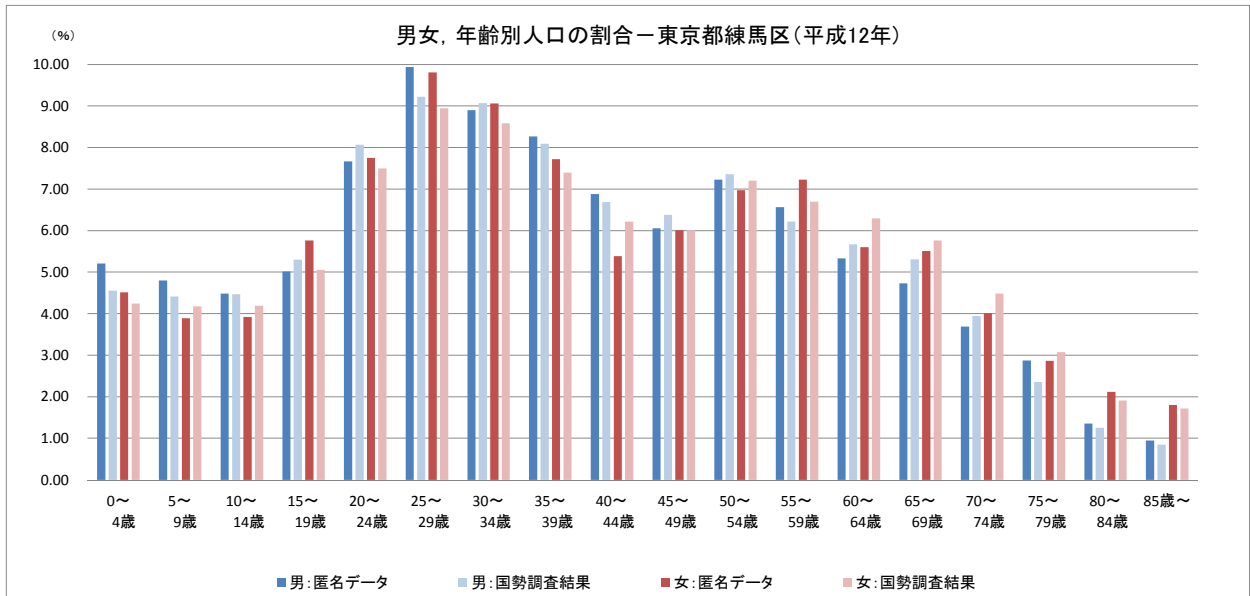
国勢調査匿名データは、その有用性を損なわないことを前提とし、国勢調査結果(全数データ)を元に、情報の削除、階級区分の再編、スワッピング(類似情報の入れ替え)等の処理を行ったうえ、約1%の割合でデータを抽出して作成しています。

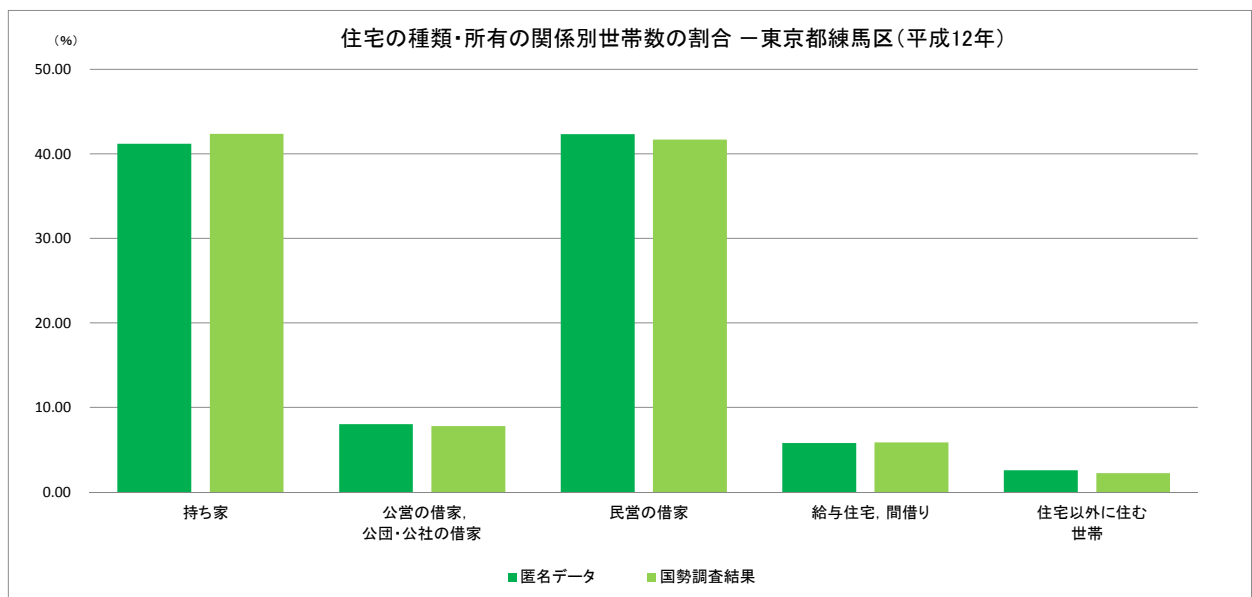
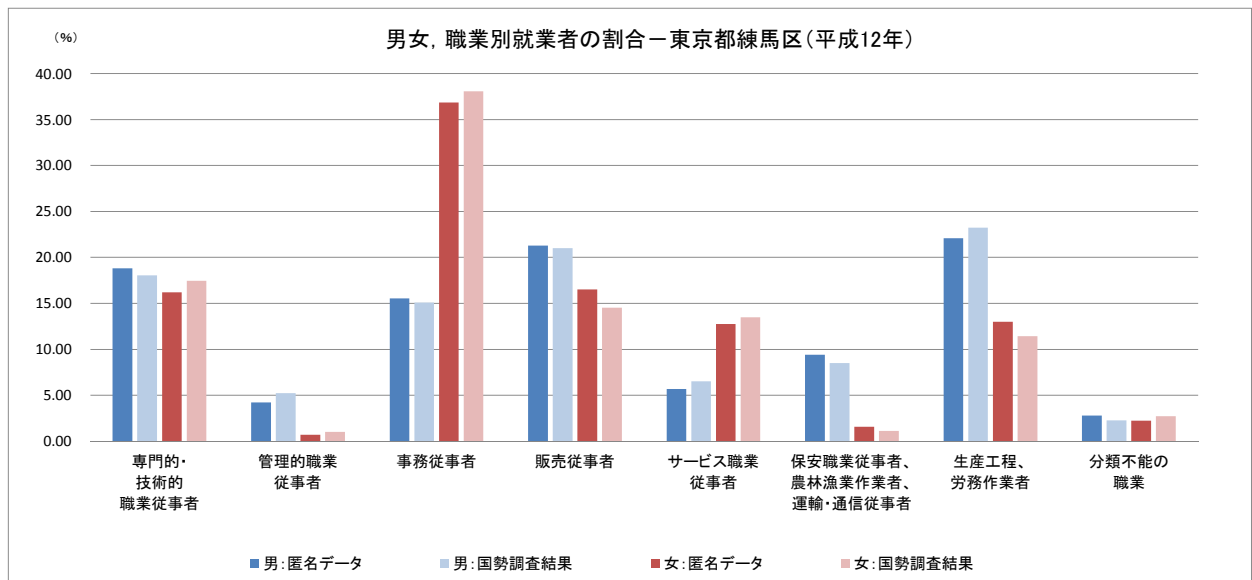
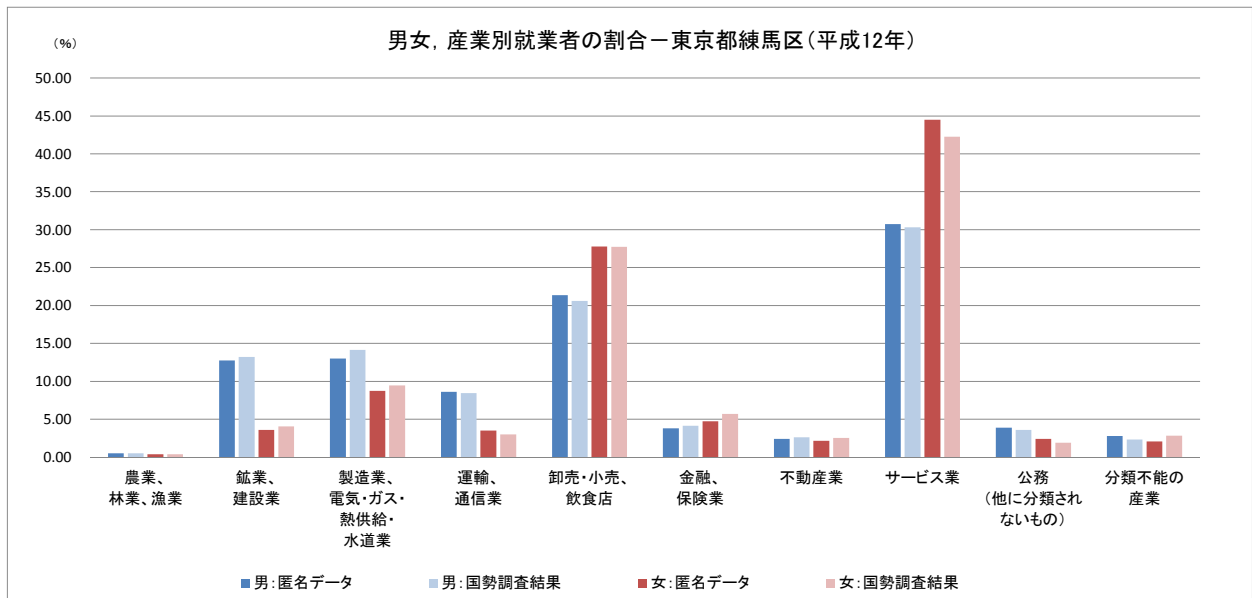
作成した匿名データについて、基本的な集計項目の割合を国勢調査結果(全数データ)と比較しましたので、ご参考にしてください。なお、比較結果は平成12年及び17年それぞれについて、全国及び東京都練馬区(匿名データの最少地域レベルである人口50万以上の市区の代表)の2種類があります。

<平成12年>









<平成17年>

